

令和2年度 園評価

I 経営の重点に関わること

評価段階

A：大変よくできた B：概ねよくできた C：あまりできていない D：できていない

教育・保育目標：やさしい心 元気なからだ 認め合う いろいろなことにチャレンジ 最後までがんばる

重点目標：明日もやりたいが生まれる環境づくり

評価指標		自己評価
子どもを理解しようと様々な方法で努めている	明日も遊びの続きやりたいと思う意欲を見逃さないよう、子どもと同じ目線に立ち遊びを見守りながら子どもの思っていることを理解するよう心掛けた。なにげない発言にも耳を傾け、興味関心を遊びに繋げられるようにした。子どもが主体的に遊びを楽しむことが増えてきた。子どもが1日の振り返りを行う中でどのようなことに興味があるのかを確認しが明日の保育に繋げていった。	B
<p>改善策</p> <p>先回りして声をかけたり、過度に援助してしまうことがあったり、年齢より高度なことを要求してしまうことがあった。また行動や思いを予測することが足りず読み取れていない場面も多かった。子どもの今の状況をしっかりと理解し対応するようクラス内の話し合いや園内研修にて子ども理解についてもっと考えていきたい。</p>		
保護者への発信	連絡ノートへは成長や気付きを保護者と共有できるようわかりやすく記入することに努め、読み手の保護者の気持ちを考え記入するよう心掛けた。降園時に子どもと保護者が掲示物を見ながら話す姿が見られ、子どもの報告する園での様子と掲示内容が一致し、家庭との共通理解に繋げることができたと感じる。保護者と職員が登降園時に話をする時間が持てないため、連絡ノートやおたよりの内容から園での姿を伝えられるようにした。	B
<p>改善策</p> <p>おたよりの内容に子どもの思いが見えることを意識しながら作成した。わかりやすい、伝わりやすいものになるよう努める。写真を使用しての掲示物を作る回数少なく、また掲示しても新しいものに取り替えず同じものを長い期間掲示してしまった。計画的に掲示物を作成する。</p>		
室内環境の見直し	子どもの目線に立ち、動きの動線を考え、どのように設定すると良いのかを意識することを心がけた。配置変えにより遊び方が変化し、集中して遊ぶ姿が増えてきたと感じる。園内研修にて他クラスの職員から見たアドバイスが参考になった。	B
<p>改善策</p> <p>日々、玩具の入れ替えを子どもの姿を見ながら、興味に合わせてまめに行う。室内の配置は非常災害時の観点からの考える必要がある。子どもの安全を考え対策していく。</p>		
園庭環境の見直し	園庭は園全体で使用するので園内研修にて話し合い進めていくことで同じ方向を向き見直すことができた。明日もやりたいが生まれる環境、全身を使って楽しむことが出来る環境を作ることを心がけ遊びに必要な物を子どもと一緒に準備できた。もっと四季を感じられるような環境が作れたら良かった。	B
<p>改善策（来年度の具体的な取組等）</p> <p>継続して園庭の環境を園内研修等で考える機会を作る。登園前の保育準備や掃除等ができないことがあった。安全対策にもつながるので職員間で協力し行っていく。</p>		

II 施設の機能に関わること

大項目：安全管理・指導

中項目：事故防止、防災

評価指標		自己評価
避難訓練や防災訓練を通して、非常時における意識や安全な行動を見につけるようにしている	様々な状況に合わせた避難の仕方や訓練の大切さを伝えた。臨機応変に対応できるよう職員間で話し合う必要があった。幼児は上靴を履いてない子がいたので、常に履くよう習慣としていきたい。訓練での反省やヒヤリハットの内容を共有し、緊張感を持つようになった。	B

改善策（来年度の具体的な取組等）
 シークレットでの訓練では、焦ってしまうことがあったため、様々な災害を想定し職員が自身で判断し行動できるよう訓練を行う。防災に対する意識が高まるような話を繰り返し伝えていく。

大項目：保健管理・指導

中項目：健康教育の充実

<p>基本的な生活習慣や挨拶を身につけ、心身共に健康な生活をしている</p>	<p>生活習慣が身につくような働きかけをした。感染予防対策の徹底し、時間差で行動する、密集しないよう心がけたことで個々をしっかりと見ることができた。正しい手洗い、うがい習慣となるよう繰り返し伝えた。</p>	<p>B</p>
--	---	----------

改善策（来年度の具体的な取組等）
 新しい生活様式を取り入れ生活をしてきた中で、手洗い、うがい等が習慣化したがおろそかになってしまう場面もあるので今後も意識していく。また、職員の健康管理も個々でしっかりと行うようにしていきたい。

大項目：組織運営

中項目：組織体制の充実

<p>全職員が役割を自覚し、責任を持って取り組んでいる</p>	<p>各係分担において各自の職務に取り組んだ。しかし、係で取り組んでいる内容が他の職員に共有していくことが難しかった。保育については子どもの話題を増やし保育者間で話すことを意識し、それぞれ役割を自覚チームワークが強くなった。</p>	<p>B</p>
---------------------------------	--	----------

改善策（来年度の具体的な取組等）
 分担で取り組んでいる内容が共有されにくいこと、情報等を発信することが遅くなってしまいうこともあったため伝達ノートを利用し全職員に伝えていくようにする。働き方、年齢、保育観等の違いもあるが、定期的に話し合う機会を設け、全職員が同じ方向性を向き仕事を進めていくよう努める。

大項目：研修

中項目：研修体制の充実

<p>園内研修で学び合いながら保育の質や専門性の向上に努めている</p>	<p>園内研修にて 1 つの課題をグループで考えて発表、他グループの意見を聞くことで共通で理解することができた。内容を参考に保育室や園庭の環境改善に積極的に取り組めた。しかし自分からなかなか発言できない職員の声を聞く機会がなかった。日誌、月案の自己評価で振り返ることができた。来年度は外部の研修へ参加の機会が増えると良いと感じた。</p>	<p>B</p>
--------------------------------------	---	----------

改善策（来年度の具体的な取組等）
 研修ではもっと活発な議論ができるよう内容、方法を検討し環境を整えたい。コロナ禍において、外部の研修参加は減少したが年度中旬から web での研修へ参加できるようになり、様々な講義を受講することができた。来年度は研修計画を立て、講義内容、希望により受講者を選び配置する。

大項目：教育・保育環境 整備

中項目：教育・保育環境の充実

<p>季節の遊びや発達に応じた遊びが出来る環境が用意されている。</p>	<p>今何に興味を示しているのかを探りながら、子ども主体の保育を意識し環境づくりをした。季節の絵本を読んだり自然物を使う遊びを取り入れた。子どもの興味から環境の見直しを行ったが職員間で方向性を共有できなかったことがあった。一人ひとりに応じた援助をもっと意識したい。</p>	<p>B</p>
--------------------------------------	--	----------

改善策（来年度の具体的な取組等）
 季節に合わせた遊びが主体的にできる環境づくりに努める。子どもの遊びの姿をみながら興味を捉え、日々検討するよう心掛ける。園内研修で環境構成について考える機会を作る。

大項目：家庭との連携・協力

中項目：家庭への支援機能の充実

<p>お便りや掲示などで園から情報を発信し、子どもの成長の喜びを共有できる</p>	<p>連絡ノートでは遊びの中での育ちや、経験を具体的なエピソードを交えて発信することを意識した。送迎時、保護者に直接情報交換をしていくことがコロナの対応により難しく家庭での様子が見づらいことがあった。</p>	<p>B</p>
---	--	----------

改善策（来年度の具体的な取組等）
 家庭と連携できるようコロナ禍でも感染対策し行えることを考え、懇談会、交流会を計画する。ホームページを利用した子どもの姿の発信等を積極的に行なっていく。ICT 化を行い、情報発信の方法を試みていく。

大項目：地域との連携

中項目：信頼される園づくりの推進

地域のさまざまな人やものとの交流を通し、園だけではできない体験ができる機会を持っている	地域の交番に勤労感謝の訪問、地域の高齢者施設へ歌や遊戯の動画を贈るなど、コロナ禍でもできる交流を行った。来年度は対策し、実施できる交流は行い地域の園として町内とも交流していきたいと思う。	D
<p>改善策（来年度の具体的な取組等）</p> <p>コロナにより園外保育の中止、散歩の回数が減少、また年長児の町内納涼祭への参加など園外へ出かける機会が減った。老人施設訪問、子育て支援等を行わず、地域との交流ができなかったことから D となった。来年度も同様な対応となることが考えられるが、今年度行った DVD メッセージ、祖父母へ敬老ハガキ、きてこへの作品展示の他、できることを考えていきたい。</p>		